

より価値のある環境保護活動をめざした 社内研修・社員教育の取り組み

NTT西日本グループでは、社員が一丸となって環境保護推進に取り組むこととしており、この営みを推進するために社内教育や研修を定期的実施しています。各職場における環境保護活動を推進するために配置した環境担当者に対する研修会である環境担当者研修会は、環境保護や生物多様性保全活動の意義の理解と、環境担当者間の情報交換を目的に開催しました。この中で、環境保護に関する世界的な動きや、各地域での環境保護活動の重要性を体験を通じて学ぶことができました。

また、ICTを活用したビジネスによって環境の保護に役立てることをめざした環境ビジネス研修では、NTT西日本の光回線サービスを用いて、人やものをつなげ、地域を活性化させることを目的に実施しました。この研修では、実世界における人やもののつながりを可視化することで、新たな活動やサービスの可能性を見出し、ICTを活用した事例についても考察することができました。

今後のNTT西日本グループの環境保護活動をさらに実りあるものとするには、我々のグループ内にとどまらず、地域、社会、お客様等さまざまな人々との交流や意見交換を重ねていくことが重要であると考えています。今後は社内における教育や研修と合わせて、幅広い人々と交流しながら、さらに価値ある環境保護活動となるように努めていきたいと考えています。

社内研修・社員教育の取り組み①

NTT西日本グループみどりいっぱい環境担当者研修会を実施



生物多様性保全活動の意義を深く理解し、NTT西日本グループ内での活動を推進する社員の育成と環境担当者間の情報交換を目的とした「第5回NTT西日本グループみどりいっぱい環境担当者研修会」を、2015年6月4日・5日の2日間にわたり、NTT西日本香川グループが活動している「NTT西日本みどりいっぱい塩江の森」にて行いました。北は石川から南は沖縄までの、みどりいっぱい活動を推進する環境担当者58名が集いました。

今回の研修では、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書が前年に公表した内容や、生物多様性条約第12回締約国会議(COP12)の概要等、環境保護に関する世界的な動き、香川県での生物多様性保全活動、そしてNTT西日本香川グループでの活動について確認しました。また、生物多様性10年会議での重要課題である「生物多様性保全に関する認知度向上」について、グループごとにディスカッションしました。



現在の地球上における環境変化は、1970年代に行われたシミュレーションどおりに進み、このまま世界の人口増加、工業化、食糧生産及び資源の使用が進めば将来、人口の急激な減少を招いてしまうこと、既に生物の種の多様性は40%も減っているといわれていること、そして、未来は一人ひとりが具体的な行動をしなければ変らないことを学びました。

香川県の和田副主幹による講演では、香川県で廃森林が増加しており、放置竹林が拡大していることや、関心のある仲間を増やして、生物多様性保全活動を展開していったほしいことなどについて、お話を伺いました。



参加者からは「理解しているつもりであったが、生物の種が40%も減少しているとは知らなかった。」「これまでみどりいっぱい活動の意味を深く考えずにやってきたが、考え直す良い機会となった。」「他県の環境担当者との交流が非常に有意義だった。」等の声があり、大変有意義な研修となりました。

全国のみどりいっぱい活動の推進者が、それぞれに、地球規模の視野をもちつつ、各地域における環境問題を解決できるように、これからもこのような活動を推進してまいります。

NTT西日本グループみどりいっぱい環境担当者研修会に関する詳しい情報は

<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/create/line128/>

